

## 「内訳書・概況書顧問」機能アップ対応版 概要(Ver.14.0)

「内訳書・概況書顧問 Ver.14.0」での対応内容をご案内します。

### 1. データの利用について

#### データ移行対象バージョン・・・Ver.12.0以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

#### <データ移行について>

お使いのプログラムのバージョンをご確認ください。

Ver.13.0 のデータのうち期末年月日が平成 20 年 4 月 1 日以降のデータを移行する場合  
法人選択によりコンバートができるようにします。

Ver.12.0 のデータや Ver.13.0 のデータのうち期末年月日が平成 20 年 3 月 31 日以前の  
データを移行する場合

移行方法(「旧バージョンデータのリストア」)により、バックアップデータの移行が可能です。

Ver.12.0については、今回のバージョンアップ商品がデータ移行(継続使用)をしていただく最後の機会とさせていただきます。

Ver.11.0 より前のバージョンをお使いのお客様

現在お使いのデータは移行できませんので、新規に入力してお使いください。

#### 概要のバージョンの表記について

「Ver.14.0」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の [ヘルプ]-[バージョン情報] で確認できます。

### 2. 機能アップ内容

Ver.14.0 では、次の機能アップを行いました。

#### 1. 財務連動の機能改善

従来の「財務データ連動」と「財務データ取り込み」の処理を「財務データ連動」のみで、財務データ選択から各残高反映まで連続して処理できるように変更しました。

#### 2. 2 回目以降の連続処理の簡素化

従来、2 回目以降(再連動時)は、法人選択画面の「財務データ連動」からしか連動が行えませんでした。法人選択後の [財務連動] タブ(従来の [財務データ取り込み] タブ)からも行えるようにしました。

#### 3. 連動対象帳票の選択

環境設定画面に、「連動する帳票」(内訳書・概況書)の選択を追加しました。

#### 4. 「その他の科目の内訳書」 電子申告不可のコメント表示

入力画面の下端に、電子申告できない旨のコメントを常時表示するようにしました。

#### 5. 翌期更新 前年度データの保存(選択式)

翌期更新する際に、内訳書の前年度データをすべて残すこともできるように、選択画面を用意しました。

#### 6. タブメニューの表示サイズ拡張

内訳書を選択しやすくするため、タブメニューの縦サイズを拡張しました。同様に横サイズも拡張し、タブを一段表示に変更しました。

#### 7. 概況書の提出用モノクロ対応

国税庁より、モノクロプリンターで白紙印刷された、法人事業概況説明書でも提出が可能となるように、OCR 帳票仕様(モノクロプリンター用)が公開されましたので、対応しました。

#### 8. 概況書 「12. 主な設備等の状況」文字数拡大

「12. 主な設備等の状況」に入力可能な文字を全角 300 文字から全角 400 文字に拡張しました。

#### 9. バックアップ 「新しいフォルダの作成」機能の追加

バックアップ先フォルダー指定時に、「新しいフォルダの作成」ができるようにしました。また、バックアップ時の初期値は「圧縮」バックアップに変更しました。

#### 10. ターミナルサービス対応 《ネットワーク版のみ》

ネットワーク版のみ、Windows ターミナルサービス対応を行いました。

## 11. Windows 7 64bit版 対応《スタンドアロン版のみ》

スタンドアロン版について、Windows 7 64bit 版でも使用できるようにしました。

## 12. セットアップランチャー対応

CD をセットするとセットアップランチャー画面が自動起動し、PC 上でセットアップ手順を確認しながらセットアップを行う形式に変更しました。

## 13. 電子マニュアルの対応

PDF 化したマニュアルをプログラムの < マニュアル > ボタンから開けるように対応しました。

## 3. 電子申告について < 2010 年 7 月 29 日公開 >

公開中の電子申告システム ( Ver.H22.1 ) との連動に対応した、電子申告更新用 ( Ver.14.0.e1 ) を公開します。電子申告を行う場合には、別途「電子申告ダウンロードパック」、法人税システムが必要です。

## 4. 動作環境

	スタンドアロン版	ネットワーク版	
		クライアント	サーバー
OS	Microsoft® Windows® 7 / Windows Vista®/ Windows® XP / Windows® 2000	Windows®2000Server Windows Server®2003 (*1) Windows Server®2008 (*1)	
メモリー	Microsoft® Windows® 7 : 1 GB以上 Windows Vista® : 512MB以上 ( 1GB以上を推奨 ) Windows® 2000、Windows® XP : 128MB以上 ( 256 MB以上を推奨 ) Windows Server® 2003 : 256 MB 以上 ( 512 MB 以上を推奨 ) Windows Server® 2008 : 512 MB 以上 ( 2 GB 以上を推奨 )		
CPU	Microsoft® Windows® 7 : 1 GHz 以上 Windows® Vista : 800MHz 以上 ( 1GHz 以上を推奨 ) Windows® 2000、Windows® XP : 400MHz 以上 ( 500 MHz 以上を推奨 ) Windows Server® 2003 : 550 MHz 以上 ( 1 GHz 以上を推奨 ) Windows Server® 2008 : 1GHz 以上 ( 2 GHz 以上を推奨 )		
ディスプレイ	1024×768 ( 小さいフォント ) 以上 ( Windows® XP の場合は「標準のフォント」、 Windows Vista®の場合は「標準のスケール」、Windows® 7 の場合は「既定の スケール ( 96DPI )」を使用 ) 表示色 : High Color ( 16 ビット ) 以上推奨		
HDD	100MB 以上	100MB 以上	10MB 以上
データ容量	登録数×約 1.5MB	-----	登録数×約 1.5MB
プリンター	上記対応 OS で使用可能なページプリンター		

(\*1) ネットワーク版のサーバーとしてのみ使用可能です。

## 5. プロダクトIDについて

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力する必要があります。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証またはプロダクトIDのご案内ハガキ)に貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

### ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアロン版)を複数本使用される場合、2本目以降のライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)を割安価格でご用意しています。

ライセンス商品はこんなときに最適です。

企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合

本社以外の出先拠点(支社、営業所等)において使用する場合

会計事務所において、在宅処理や外出先処理(モバイル用途)等の所外で使用する場合

学校等の教育用途として使用する場合

【著作権・使用許諾契約について】プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。